

第3章 基本理念・基本方針

基本理念

子どもの夢に寄り添い 「生き抜く力」を育む 周南の教育

「子どもは社会の宝」です。

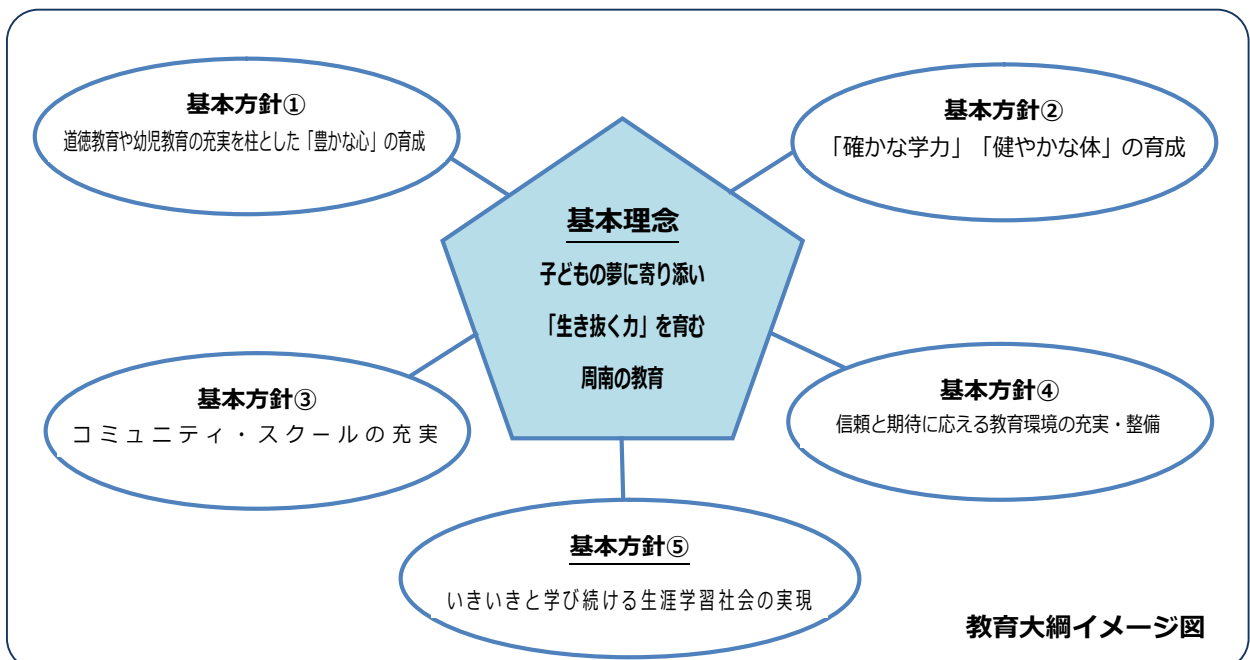
子どもの元気な笑い声が飛び交うまちは、活気に満ちあふれています。

子どもたちが、真の社会人としての自己実現を図るためには、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を、それぞれ調和のとれた『生きる力』として身に付けることが重要です。その上で、これからの変化の激しい社会を未来^{あす}に向かって生きていくためには、チャレンジ精神や逆境を乗り越えていくなどの『生き抜く力』が必要となります。

これらの『生きる力』『生き抜く力』を育成するためには、コミュニティ・スクールが核となり、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもたちの夢に寄り添いながら、学びや育ちを社会全体で見守り育むことが重要です。その上で、「ふるさと周南」の自然や歴史、伝統や文化に誇りと愛着をもち、高い「志」を抱いて社会で活躍し、力強く自らの未来^{あす}を拓く子どもたちを育てていく環境づくりが大切です。

さらに、人権教育の充実のもとより、文化芸術やスポーツを含めた幅広い生涯学習活動を推進し、誰もが、「いつでも」「どこでも」学ぶことができる環境を充実するとともに、その学びの成果を社会に還元する生涯学習社会の実現と、まちづくりを担う人材育成が重要です。

こうした教育理念を具現化するため、教育における「不易」（本質的な価値）と「流行」（変化への対応）を見極めながら、次の5つの基本方針に基づき実践を積み重ねることで、「周南の教育」のさらなる充実に努めます。



基本方針①

道徳教育や幼児教育の充実を柱とした「豊かな心」の育成

社会性や人間関係を築く力の低下が指摘される現代社会においては、自分自身を真剣に見つめる心、美しいものや気高いものに素直に感動する心、生命（いのち）を大切に思う心、他者を思いやり、共感したり、感謝したりする心、善悪の判断などの基本的倫理観や規範意識、自制心や自立心、の育成など、心の教育の充実はますます重要となっています。

特に、幼児期は、身近な自然や人々とのふれあいを通して豊かな心を育むなど、生涯にわたる人格形成の基礎を培う上で極めて重要な時期であり、幼児一人ひとりの特性に応じた教育の充実が求められています。

このため、全ての教育活動を通して、道徳教育や幼児教育の充実を図り、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの「豊かな心」の育成に努めます。

基本方針②

「確かな学力」「健やかな体」の育成

I o T※、A I、ロボット、ビッグデータ※など情報通信技術等の飛躍的な発達により、社会構造が劇的に変化する中、次代を担う子どもたちは、自ら学び、考え、主体的に判断し、課題を解決していく資質や能力を身に付け、想像すらできないこれからの未来社会を、生き抜いていかなければなりません。

さらに、グローバル化が一層進む国際社会の中で、広い視野をもち、自分とは異なる文化や環境にある人々と、相手の立場を尊重しつつ、互いに力を合わせて生きていく力を身に付けることも重要です。

このため、基礎的な知識・技能の習得に加え、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に果敢にチャレンジし解決する力や新たに創造する力などの「確かな学力」、他人を思いやる心や感動する心などの「豊かな心」、たくましく生きるための健康や体力などの「健やかな体」を育てるとともに、これら知・徳・体の調和を重視し、これからの変化の激しい社会を力強く『生き抜く力』を育む教育の実現に努めます。

基本方針③

コミュニティ・スクールの充実

次代を担う子どもたちの豊かな成長のためには、学校・家庭・地域が互いの役割と責任を自覚しつつ、地域で育てたい子ども像を共有し、相互に連携・協働しながら、一体となって教育に取り組むことが重要です。

このため、中学校区を核としたコミュニティ・スクールの取組により、学校と地域の「横のつながり」、小学校と中学校のみならず幼稚園、保育所、認定こども園等との「縦のつながり」を相互に紡ぎ合わせることで、地域と一体になって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」の一層の充実を図ります。

また、子どもたちが「ふるさと周南」に誇りと愛着をもち、次代の社会の担い手として育つよう、「学校を核とした地域づくり」にも取り組みます。

基本方針④

信頼と期待に応える教育環境の充実・整備

子どもたちの『生き抜く力』を育成するためには、その基盤となる子どもたち一人ひとりに寄り添う生徒指導体制の確立はもとより、地域人材との積極的な連携、教職員の資質・能力や指導力の向上とともに、教員が子どもたちと向き合う時間の確保をめざした教員の働き方改革の一層の推進が求められます。

また、子どもたちが安心・安全に、快適な環境の中で学校生活を送るためには、計画的な学校施設の充実・整備や通学路の安全対策、質の高い学校給食の提供などが重要です。

このため、ソフト、ハードの両面から教育環境の充実・整備に努め、子どもたちの生活・学習意欲のさらなる向上につながる魅力ある学校づくりに取り組みます。

いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現

都市化や核家族化、少子高齢化や雇用関係などの社会環境の変化に伴い、市民一人ひとりの価値観は個別化・多様化しており、市民が多様な学びにふれる環境づくりや生涯を通じて学び続けることができる体制づくりが求められています。

また、学びの成果を学校や地域で発揮することは、大人同士の仲間づくりや生きがい感、豊かな人間関係の形成に役立つとともに、地域の連帯感の高揚やシビックプライド[※]の醸成につながり、ひいては地域づくりの大きな推進力にもなります。

このため、人権教育の充実を図るとともに、様々な学習活動への支援、スポーツ環境の整備、文化芸術活動の推進、文化財の保護、図書館の充実などに取り組み、いきいきと学び続ける生涯学習社会の実現に努めます。